



## 2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 不二精機株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6400 URL <https://www.fujiseiki.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊井 剛  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 小田 将義 TEL 06-7166-6822  
半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	4,418	8.4	273	37.8	297	84.5	174	199.9
2024年12月期中間期	4,075	△0.1	198	32.3	161	28.0	58	22.0

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 △89百万円 (—%) 2024年12月期中間期 261百万円 (186.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	21.49	—
2024年12月期中間期	7.16	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	9,524	3,365	35.3
2024年12月期	9,437	3,511	37.2

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 3,365百万円 2024年12月期 3,511百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,819	6.9	440	8.9	434	32.3	247	77.7	30.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期中間期	9,054,000株	2024年12月期	9,054,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	956,440株	2024年12月期	955,540株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年12月期中間期	8,097,946株	2024年12月期中間期	8,099,773株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(中間連結損益計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、米国、中国の対立やロシアによるウクライナ侵攻に加え、米国の関税政策の影響等により海外経済の不確実性が高まり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「5S活動」を基本とする着実な品質改善活動に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期に比較して、精密成形品その他事業で減少したものの、射出成形用精密金型及び成形システム事業で増加したことにより、前年同期比3億43百万円(8.4%)増加の44億18百万円となりました。

損益につきましては、射出成形用精密金型及び成形システム事業において利益率の高い医療機器用精密金型の検収が進んだことで、営業利益は、前年同期比75百万円(37.8%)増加の2億73百万円となりました。

経常利益は、営業外収益で為替差益が47百万円生じたことにより、前年同期比1億36百万円(84.5%)増加の2億97百万円となりました。

固定資産の減損損失34百万円を計上した特別損益項目、法人税等に加え、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比1億16百万円(199.9%)増加の1億74百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。なお、以下の記載はセグメント間の内部売上高又は振替高を含んだ金額によっております。

#### <射出成形用精密金型及び成形システム事業>

医療機器用精密金型の売上高が前年同期に比べ、中国の子会社で減少した一方、国内では増加したため、当セグメントの売上高は、前年同期比3億70百万円(28.3%)増加の16億78百万円となりました。

また、厳しい受注環境の中、利益率の高い医療機器用精密金型の売上高が増加したことにより、セグメント利益は、前年同期比1億6百万円(590.9%)増加の1億24百万円となりました。

なお、個別受注生産である当事業の未検収の受注残高は、前連結会計年度末から高水準で推移しております。

#### <精密成形品その他事業>

主力製品である自動車部品用成形品は東南アジア市場を中心に中期的な受注をいただいておりますが、売上高は中国とタイの子会社で前年同期に比べ増加した一方で、国内及びインドネシアの子会社で前年同期に比べ減少したことにより、当セグメントの売上高は、前年同期比34百万円(1.2%)減少の27億91百万円となりました。

セグメント利益は、原価率の上昇により前年同期比37百万円(19.9%)減少の1億49百万円となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ87百万円(0.9%)増加し、95億24百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金が3億29百万円、製品が1億9百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億48百万円(5.2%)増加し、50億31百万円となりました。

固定資産は、主に工具、器具及び備品が45百万円、リース資産が42百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億61百万円(3.5%)減少し、44億92百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億33百万円(3.9%)増加し、61億58百万円となりました。

流動負債は、主に契約負債が76百万円、支払手形及び買掛金が34百万円増加し、未払金が45百万円、賞与引当金が43百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4百万円(0.1%)増加し、40億21百万円となりました。

固定負債は、主に長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億28百万円(12.0%)増加し、21億36百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が増加し、為替換算調整勘定が2億46百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億46百万円(4.2%)減少し、33億65百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.9ポイント減少し、35.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2025年2月14日付で公表いたしました2025年12月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しております。

2025年12月期通期連結業績予想の修正 (2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,819	405	367	226	27.91
今回修正予想(B)	8,819	440	434	247	30.54
増減額(B-A)	—	35	67	21	
増減率(%)	—	8.6	18.3	9.3	
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期)	8,251	404	328	139	17.19

詳細につきましては、2025年8月8日付「中間連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,458,104	1,787,920
受取手形及び売掛金	1,397,223	1,329,341
電子記録債権	270,499	285,958
製品	619,907	729,354
仕掛品	601,603	463,903
原材料及び貯蔵品	202,817	260,284
未収入金	28,704	45,040
その他	204,945	129,685
貸倒引当金	△745	—
流動資産合計	4,783,059	5,031,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	901,588	884,874
機械装置及び運搬具 (純額)	1,361,415	1,355,770
工具、器具及び備品 (純額)	457,351	411,775
土地	735,158	735,158
リース資産 (純額)	186,308	144,245
建設仮勘定	445,494	440,240
有形固定資産合計	4,087,316	3,972,065
無形固定資産		
のれん	19,380	17,442
その他	145,390	129,527
無形固定資産合計	164,770	146,970
投資その他の資産		
投資有価証券	212,882	186,124
長期貸付金	5,123	4,943
繰延税金資産	82,250	83,716
その他	112,354	109,426
貸倒引当金	△10,748	△10,643
投資その他の資産合計	401,862	373,567
固定資産合計	4,653,949	4,492,602
資産合計	9,437,009	9,524,093

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	778,989	813,241
電子記録債務	189,689	192,812
短期借入金	1,796,316	1,779,380
リース債務	105,221	88,759
未払金	293,797	248,015
未払法人税等	18,294	32,871
契約負債	540,464	616,930
賞与引当金	111,274	67,832
製品保証引当金	33,568	35,000
その他	149,152	146,496
流動負債合計	4,016,769	4,021,339
固定負債		
長期借入金	1,596,048	1,839,510
リース債務	35,758	15,455
繰延税金負債	144,516	147,420
退職給付に係る負債	92,524	95,090
役員退職慰労引当金	3,403	3,403
資産除去債務	36,162	36,080
固定負債合計	1,908,412	2,136,959
負債合計	5,925,181	6,158,299
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	750,768	750,768
利益剰余金	1,351,966	1,469,312
自己株式	△233,280	△233,280
株主資本合計	2,369,454	2,486,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,458	36,613
為替換算調整勘定	1,088,340	841,829
退職給付に係る調整累計額	573	549
その他の包括利益累計額合計	1,142,372	878,993
純資産合計	3,511,827	3,365,793
負債純資産合計	9,437,009	9,524,093

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,075,328	4,418,529
売上原価	3,278,296	3,512,302
売上総利益	797,031	906,226
販売費及び一般管理費	598,456	632,609
営業利益	198,575	273,617
営業外収益		
受取利息	1,790	2,202
受取配当金	87	1,256
補助金収入	1,763	907
為替差益	—	47,395
その他	4,961	8,840
営業外収益合計	8,602	60,602
営業外費用		
支払利息	18,776	22,684
コミットメントライン手数料	8,323	2,843
為替差損	15,696	—
その他	3,331	11,542
営業外費用合計	46,128	37,070
経常利益	161,049	297,149
特別利益		
国庫補助金	59,606	—
固定資産売却益	1,294	91
特別利益合計	60,901	91
特別損失		
固定資産圧縮損	59,530	—
固定資産売却損	1,376	637
固定資産除却損	0	5,797
減損損失	—	34,373
特別損失合計	60,906	40,808
税金等調整前中間純利益	161,044	256,432
法人税、住民税及び事業税	70,659	76,299
法人税等調整額	32,361	6,097
法人税等合計	103,020	82,397
中間純利益	58,024	174,034
親会社株主に帰属する中間純利益	58,024	174,034

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	58,024	174,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,462	△16,844
為替換算調整勘定	182,425	△246,510
退職給付に係る調整額	△7	△24
その他の包括利益合計	203,881	△263,379
中間包括利益	261,905	△89,344
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	261,905	△89,344

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 中間連結会計期間末日満期手形等

中間連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日等をもって、決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形等が期末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
電子記録債権	4,123	—

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
給料	169,215千円	178,526千円
退職給付費用	4,814	4,298
賞与引当金繰入額	9,171	18,514
貸倒引当金繰入額	12	—

※2 減損損失

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額
三重県鈴鹿市	遊休資産	工具、器具及び備品	34,373千円

当社グループは原則として、事業部を基準として資産のグルーピングを行っております。また、遊休資産については個別物件ごとにグルーピングを行っております。対象資産は、当中間連結会計期間において将来の使用が見込めなくなったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額34,373千円を減損損失として特別損失に計上しております。回収可能価額は正味売却価額により算定しており、処分見込額等合理的な見積りにより評価しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,249,693	2,825,634	4,075,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58,038	-	58,038
計	1,307,731	2,825,634	4,133,366
セグメント利益	18,061	186,494	204,555

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	204,555
セグメント間取引消去	△5,980
中間連結損益計算書の営業利益	198,575

II 当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,627,350	2,791,178	4,418,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,837	-	50,837
計	1,678,188	2,791,178	4,469,366
セグメント利益	124,777	149,428	274,206

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	274,206
セグメント間取引消去	△589
中間連結損益計算書の営業利益	273,617

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品 その他事業		
減損損失	—	34,373	—	34,373